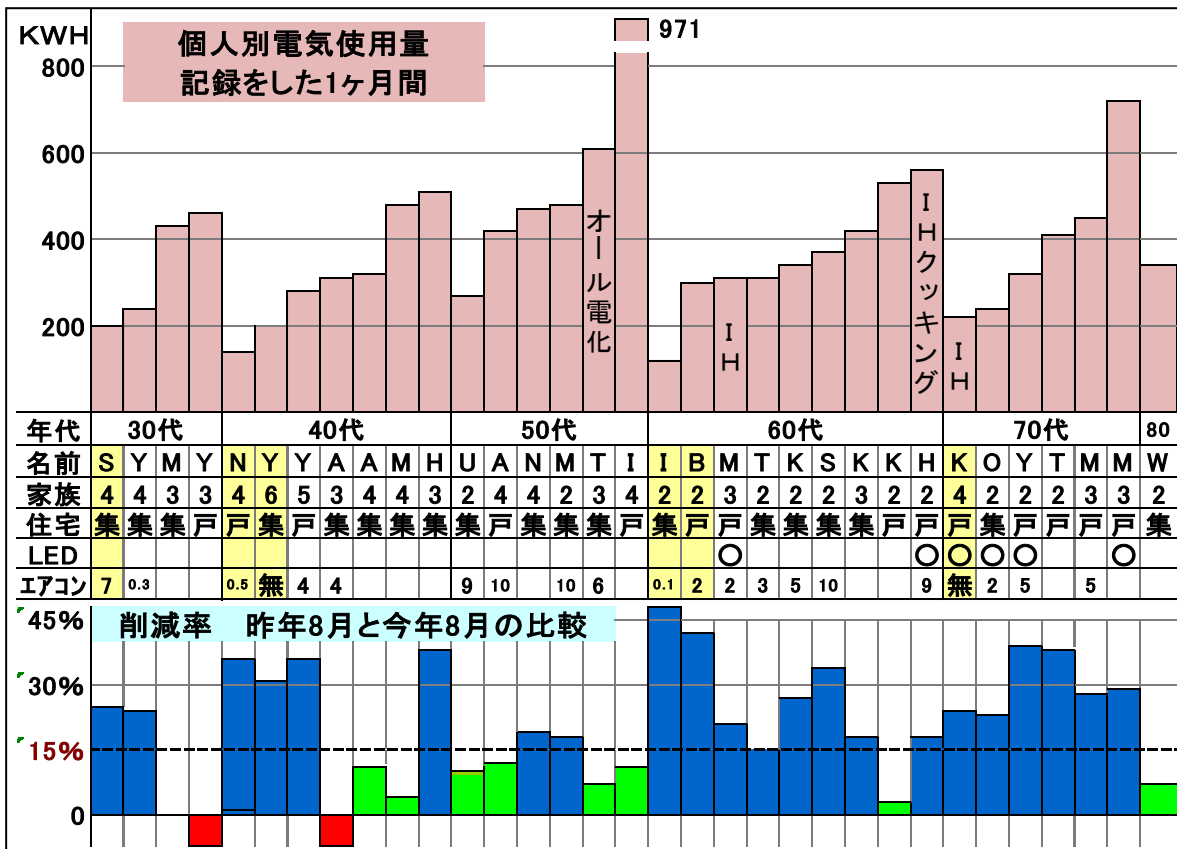


表② この表は3人の使用量を1日ごとに平均した値と気温を比較したものです。
 左の単位が Kwh で右は気温です。○印はその日の最高気温です。赤丸は35℃以上の猛暑日です。
 気温が高い日は大体使用量も多くなる傾向にありますが、家族の生活状態や来客があったときのエアコンの使用などの要因も大きいように思います。

表③ こちらの表は記録した1ヶ月の使用量を年代別に少ない順に表したものと下のグラフは検針表から去年の8月の使用量と今年の8月の使用量から削減率を出したものです。



去年より涼しかったのと意識して生活したおかげでほとんどの人が削減できていました。去年に比べて目標の15%以上削減できた人は、青色。15%未満だったが削減できた人はみどり色。できなかった人は赤色です。

30代40代が11人と若い人達が熱心に調べに参加してくれたことを嬉しく思います。
 住宅は58%の人が集合住宅です。
 エアコンは使用時間です。2台あっても1台のみ記録した人や全て記録した人とさまざまです。
 エアコンを設置していない人は、Yさん・Kさんです。

使用量の少ないIさん・Nさん・Sさん・Kさん。削減率の多いBさんの感想を云います。

60代Iさんは集合住宅・2人家族で調べた1ヶ月使用量は127Kwh。

夫も節電意識が高く2人でせつせと無駄をなくそうと取り組んでいる。エアコンを、去年は使用したが今年は息子が来た1日のみ使用。17階で部屋は明るく、冷蔵庫も小さい。

削減率も48%と大きい。

40代Nさん一戸建て・4人家族・1ヶ月使用量141KWhです。

炊飯器・電気ポット・ホットプレート・オーブントースターがありません。

電気使用量を記入することでエアコンの使用が少なくなりました。

電気メーター指示数は毎朝主人にしてもらいました。家族皆で電気の使用量を意識する事が出来ました。日中も夜寝る時も保冷剤をタオルに包み首に巻きました。

削減率36%です。

30代Sさんは集合住宅・4人家族・1ヶ月使用量209KWhです。

タップ式のコンセントを使い、使わない時はOFFにする。

昨年から電気炊飯器・電気ポットをやめました。この夏から電気オーブントースターでパンを焼くのをやめ、さかな焼きグリルでするようになった。

電気使用量は28%ダウンしたが、ガス代は32%アップした。

以前は毎日掃除機をかけていたがモップと雑巾がけがメインで週1回~2回掃除機でしました。エアコンの使用時間7時間と意外に多いのに電気使用量は少ないのは、就寝時のみに使用しています。今までは6畳間と4畳半の扉をあけっ放して寝ていたのを、夏休み前に模様替えして、六畳間を締め切って皆で寝ることが出来、エアコンの効率も良くなった

70代のKさんは一戸建て・4人家族・1ヶ月間使用量225KWhです。

昨年の猛暑で、エアコンなしの生活は大変だったので、今年は設置したいと願っていましたが3月の大震災で家族の意見が今年も我慢しようという事になりました。

扇風機5台使用。削減率24%

60代Bさんは1戸建て・2人家族 1ヶ月使用量351KWh 昨年までは西日の当る居間と台所での暑さに負けて

夕方からエアコンを使用するのが習慣になっていたが、今年は節電を意識して勝手口にヨシズを立ててみると1日中良い風が入り今年あまりエアコン使わないで生活できた。

意識して生活する事の大切さがわかりました。削減率42%です。

次に40代Yさんに話してもらいます。集合住宅・6人家族・1ヶ月電気使用量210KWh

削減率31%でした。

我が家は中学三年生から小学校1年生までの4人の子どものいる6人家族です。

電化製品で持っていないのはエアコン・テレビ・電気ポット・オーブントースターです。

6人家族にしては電気の使用量が少ないと以前から言われていましたし、これ以上何をどう削減したらよいのか考えつかず、とりあえず夏を乗り切るために2つの事を心がけました。一つ目は当たり前のことですが、暑さを和らげる工夫をしました。小1の娘が学校で朝顔を育てているので、家でも朝顔でグリーンカーテンに挑戦してみました。

ただ、適当に支柱を立てたり、ベランダのさくにつるが巻きついたりとてもグリーンカーテンと呼べるものではなく、ただ伸び放題に伸びた朝顔で見た目にきれいではありませんでした。

来年はきちんと勉強して朝顔や風船かずらできれいなカーテンを作りたいと思います。又、朝、子どもと一緒にラジオ体操に参加し、帰宅後すぐに廊下と台所のふき掃除をしました。水ぶきをするすると熱気が和らぐ気がします。腰をかがめてふき掃除をすると、短時間でたっぷり汗をかきます。朝、体操と掃除で汗をかきシャワーを浴びて新しい服に着替えると、気持ちのよいスタートを切ることができました。

2つ目に心がけたことは、頂いたエネルギーは電気だけでなく水やガスも全て無駄にしないという事です。我が家は電気ポットがないので、お茶1杯飲むのにもやかんでお湯を沸かすのですが、適当に水を入れるのではなく、湯のみで水の量を量ってから沸かすようにしました。温めなおしは極力避け、フリージングも止めました。このようにエネルギーを無駄にすることをしないように意識して生活しました。

1日にどの位の電気使用量なのか、生活の仕方によって変わるものなのか知りたくなってチャレンジしました。

オープンを使う日や、ホットプレートを使った日は数字が大きかったです。

去年と変わったことと言えば、6月に方面で励んだお鍋でご飯を炊くことを始めたことと、

13年間使っていた冷蔵庫を買い替えた事くらいです。扇風機5台が1日中フル活動していました。節電の効果が大きいエアコンは、もともとないのでそれほどの削減は期待していませんでしたが、去年の287kwhから今年は198kwhと31%も削減出来ました。以前、コンセントからプラグを抜く励みというのをした時も使用量が減り、電気の使用量はほんの小さな積み重ねで削減できると実感したことを思い出しました。

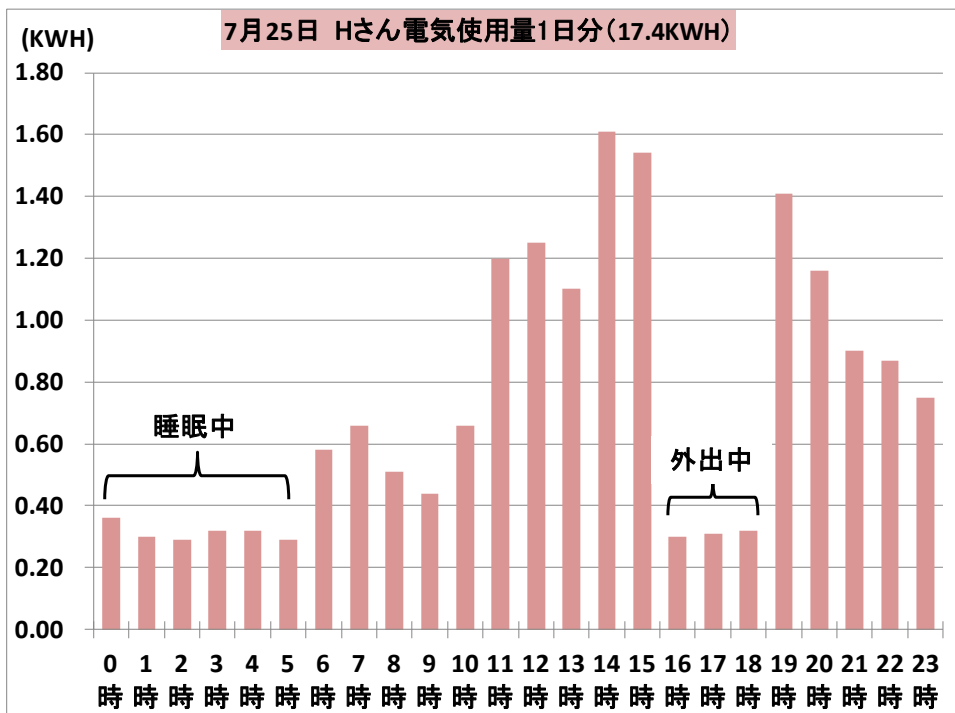
今年は私がうるさく言わなくても、国を挙げて節電を呼び掛けてくれたので、家族の意識も高かったです。電気をこまめに消したり、冷蔵庫の開閉を減らすために各自が水筒に冷たいお茶を入れ手元においていました。夏にクーラーを使わずに過ごせるという事は、家族の健康があつての事です。体調を崩すことなく、風邪も引かずにこの暑い夏を乗りきってくれた家族に感謝したいと思います。

使用量の少ない人たちも15%以上の削減ができていることは素晴らしいと思います。

LED電球はまだまだ経費がかかりますが節電の為にLEDに変えた吉田美智子さん・宮川さん、亀岡さん・大岩さん・布上さん・お年寄りが居て一日中トイレの電気をつけているのでLEDに変えた宮尾さんです。

使用量の多い出石さんは1戸建てで住宅密集地の為、隣の室外機の熱風が入ってくるためエアコンを使う事が多く、大人4人で夜はエアコンも3台動いていて、使用量が多いとのことでした。

表④ こちらの表はHさんのある1日の、1時間ごとの電気使用量の推移です。



Hさんは大阪市環境局に申し込んで、電気使用量の推移が15分ごとにわかる省エネナビという機械を借りることが出来ました。この日の使用量合計は17.4KWHです。エアコン、IHクッキング、電気オーブン、など使用中はグッと棒が長くなっています。睡眠中、外出中さえ1時間あたり0.3KWHあり、これは冷蔵庫と待機電力の分になります。これを換算すると、1日7.2KWH、1ヶ月不在でも216KWHで、6人家族Yさんの1ヶ月使用量より多くなっています。エコワットで計ると冷蔵庫だけで1ヶ月131KWH使っており、14年目の冷蔵庫を来年くらいは買い換えたいそうです。待機電力も

1ヶ月あたり85KWHもかかっているの、ブレーカーを下ろしたり、夫の領域外のプラグの抜けるものは全部抜いて、省エネナビを見ると半分に減っていたとのこと。まずは夫も巻き込んで地道に待機電力を減らしたいそうです。参加した皆さんは、いろいろ工夫したり毎日メーターを測定することで、電気使用量を意識した夏休みだったと思います。

関西電力が云っている15%削減はもちろんですが皆が少しでも電力の使用量が減れば原発にたよらなくて済むのではないかと思います。これからも季節ごとの工夫をして節電に励みたいと思います。

方面ではこれからの予定として「いまこそ生活を変えよう すぐ出来る節電」～もう一つの火口 鍋帽子を使って～をテーマに10月23日東大阪市市庁舎で開催される第30回東大阪市消費生活展と11月27日「クレオ大阪中央・10周年」のフェスタに参加致します。